「み」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「み」で始まる語彙辞典 4

おわりに 18

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「み」で始まる語彙辞典

見栄(みえ)も外聞(がいぶん)も無・い
ある状態に陥って、人の目やうわさを考える余裕もない。

みえ - わた・る【見え渡る】
［動ラ五（四)］
一面に見える。どこまでも見える。「広大な眺望が―・る」

み - おも【身重】
妊娠していること。「―のからだ」

磨(みが)きが掛(か)か・る
磨いていっそう美しくなる。転じて、鍛錬の結果、よりすぐれたものになる。「投球術に―・る」

磨(みが)きを掛(か)・ける
磨いていっそう美しくなるようにする。転じて、よりすぐれたものになるようにきたえる。「得意の英語に―・ける」

右(みぎ)から左
受け取った金品を、すぐまた他の人に渡して、手元にとどめおかないこと。「給料をもらっても―へなくなってしまう」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

水屑(みくず)とな・る
水死する。「海底の―・る」

御輿(みこし)を据・える
座り込んで動かない。ゆったりと構えて動こうとしない。「―・えて話し込む」

み - すま・す【見澄ます】
［動サ五（四）］
気をつけてよく見る。「あたりを―・して忍び込む」

みずかけ - ろん【水掛（け）論】
両者が互いに自説にこだわって、いつまでも争うこと。また、その議論。互いに自分の田に水を引こうと争うことからとも、水の掛け合いのように勝敗の決め手のない論争の意からともいう。

自(みずか)ら持(じ)・する
自分で自分を引きしめてくずれないようにする。「大事を前に―・する」

水(みず)があ・く
① 競泳・ボートレースなどで、一身長または一艇身以上の差がつく。
② 競争する者どうしの間に差がつく。「他社との間に―・いた」

水(みず)が合わ◦ない
その土地の環境になじめない。また転じて、組織などに適応できない。「新しい職場の―◦ない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

みずぎわ - だ・つ【水際立つ】［動タ五（四）］
ひときわ目立つ。あざやかにきわだつ。「―・った演技」

水（みず）とな・る
消えてなくなる。むだになる。だめになる。水になる。「苦労が―・る」

水（みず）に慣・れる
その土地の水を飲みなれる。転じて、その環境になれる。「プロの―・れる」

水（みず）の滴（したた）るよう
美男美女のみずみずしく魅力的であるさまの形容。「―ないい男」

水（みず）の低きに就（つ）くが如（ごと）し
《「孟子」告子上から》
水が低いほうに流れるように、自然のなりゆきは、止めようとしても止められないことのたとえ。また、ごく自然にそうなることのたとえ。

水（みず）も滴（したた）る
みずみずしく魅力にあふれている。「―若衆姿」

水（みず）も漏らさぬ
① 警戒・防御などが厳重で完全なさま。「―警備」
② 非常に親しいさま。「―仲」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

水(みず)をあ・ける
① 水泳・ボートレースなどで、一身長または一艇身以上の差をつけて相手に先行する。「二位に大きく―・ける」
② 競争相手を大きく引きはなす。

水(みず)を打ったよう
その場にいる大勢の人々が静まりかえるさま。「場内が―になる」

水(みず)を得(え)た魚(うお)のよう
その人に合った場で生き生きと活躍するようすのたとえ。「職場が変わってからは―だ」

水(みず)を掛(か)・ける
活発な動きに邪魔だてをしてだめにする。「議論に―・ける」

水(みず)を向・ける
① 霊前に水を手向ける。
② 相手の関心が自分の思う方向に向くように誘いをかける。「それとなく―・ける」

身銭(みぜに)を切・る
自分の金で払う。自腹を切る。

みだり‐がわし・い【濫りがわしい】
［形］［文］みだりがは・し［シク］
みだらである。好色でいやらしい。「―・い言葉」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

みち - すがら【道すがら】
［副］
道を行きながら。道の途中で。みちみち。「帰る―話を聞く」

道(みち)ならぬ
道徳・道理にはずれている。「―恋」

道(みち)を付(つ)・ける
① 通行できる道をこしらえる。「林の中に―・ける」
② ある方面に進む糸口をつくる。「国交回復の―・ける」

みっ - こう【密行】
［名］(スル)
① 人に気づかれないようにこっそりと出歩くこと。しのび歩き。
② ひそかに目的地へ行くこと。「単身で―する」

みっ - せい【密生】
［名］(スル)
草木などがすきまなく生えること。「熱帯植物が―している」

みっ - せん【密栓】
［名］(スル)
かたく栓をすること。また、その栓。「―して冷所に置く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

みっ - そう【密送】
［名］（スル）
こっそり人に知られないように送り届けること。「個人名で―する」

みつ - ぎ【密議】
［名］（スル）
秘密の会議。「―をこらす」

みつ - ご【蜜語】
蜜のように甘い言葉。男女のむつごとをいう。「―を交わす」

みつ - じ【密事】
秘密の事柄。ないしょごと。「―を明かす」「―が漏れる」

みつ - ぞ【密造】
［名］（スル）
法を犯してこっそりつくること。「拳銃を―する」「―酒」

みつ - ぼう【密謀】
秘密のはかりごと。密計。「会社乗っ取りの―をめぐらす」

み - とが・める【見咎める】
［動マ下一］［文］みとが・む［マ下二］
悪事や欠点などを見てそれを非難する。また、見て不審に思い問いただす。「管理人に―・められる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

み - どく【味読】
［名］（スル）
内容や文章をよく味わいながら読むこと。「文学作品を―する」

身(み)につまさ・れる
他人の不幸などが、自分の境遇・立場と思い合わさって切実に感じられる。「―・れる苦労話」

身(み)の置き所がな・い
その場にいられない。いたたまれない。「恥ずかしくて―・い」

見始(みはじ)めの見納(みおさ)め
初めて見てそれが最後となること。生涯に一度しか見ないこと。

見果(みは)てぬ夢(ゆめ)
① 最後まで見終わらない夢。
② 心残りなことや実現不可能なことのたとえ。「優勝は、―に終わった」

みみ - あたらし・い【耳新しい】
［形］［文］みみあたら・し［シク］
初めて聞くことである。初耳である。「―・い外来語」

耳(みみ)が肥・える
音楽などを聞きこんでいくうちに、味わう能力が豊かになる。「―・えた聴衆」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

耳(みみ)が早・い
物音や世間のうわさなどを聞きつけるのが早い。「新聞記者は―・い」

みみ - ぐるし・い【耳苦しい】
［形］［文］みみぐる・し［シク］
聞くにたえない。聞き苦しい。「お―・い話で恐縮です」

みみ - ごうしゃ【耳巧者】
［名・形動ナリ］
耳学問でいろいろなことを知っていること。また、その人や、そのさま。

みみ - ざと・い【耳×聡い】
［形］［文］みみざと・し［ク］
① 聴覚が鋭い。「―・く不審な物音を聞きつける」
② 情報などを聞きつけるのが早い。早耳である。「業界通だけあってさすがに―・い」

みみ - ざわり【耳触り】
聞いたときの感じ・印象。「―のよい音楽」

みみ - ざわり【耳障り】
［名・形動］
聞いて気にさわったり、不快に感じたりすること。また、そのさま。「―な音」

蚯蚓(みみず)ののたくったよう
へたな筆跡のたとえにいう。「―な字」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

耳(みみ)に当た・る
聞いて不愉快になる。「―・る陰口」

耳(みみ)に障(さわ)・る
聞いて不愉快に感じる。また、耳にとまる。「―・る音」

耳(みみ)に立・つ
聞こえて気になる。耳にとまる。「隣室のテレビの音が―・つ」

耳(みみ)に付(つ)・く
音・声などが耳にとまって、気になる。「波の音が―・いて眠れない」

耳(みみ)に留(と)ま・る
聞こえてきて、それに注意が向く。また、聞いたことが気になって耳に残る。「捨てぜりふが―・る」

耳(みみ)に留(と)・める
注意して聞く。聞いて記憶に残す。「先輩のアドバイスを―・める」

耳(みみ)に残・る
声や音が忘れられなくなる。「―・る映画音楽」

み - みょう【美妙】
［名・形動］
何とも言い表せないほど美しく、すぐれていること。また、そのさま。びみょう。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

み - みょう【微妙】
［名・形動］
趣深く繊細であること。また、そのさま。びみょう。

耳(みみ)を敧(そばだ)・てる
聞こうとして注意を集中する。「内緒話に―・てる」

耳(みみ)を揃(そろ)・える
《大判・小判の縁をそろえる意から》
全額を不足なく用意する。「借金を―・えて返す」

みゃく - どう【脈動】
［名］(スル)
① 脈が打つこと。
② 表面には現れないが、脈が打つように絶えず力強く動いていること。また、その動き。「―する新時代のメディア産業」

みやび - やか【雅びやか】
［形動］［文］［ナリ］
上品で優美なさま。風雅なさま。「―な舞」

冥加(みょうが)に余・る
冥加が身に過ぎてありがたい。分に過ぎてもったいない。冥加に尽きる。「―・るもてなし」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

みょう - ぎ【妙技】
すばらしいわざ。非常にみごとな技術。「柔道の―を競う」

みょう - けい【妙計】
すぐれた計略。巧妙な計略。妙策。「―を案じる」

みょう - しゅ【妙趣】
すぐれたおもむき。非常にすばらしい味わい。妙味。「―に富む名園」

みょう - み【妙味】
① なんとも言えない味わい。非常にすぐれた趣。醍醐味。「すぐれた作品のもつ―」
② いいところ。うまみ。「―のある商い」

みょう - やく【妙薬】
不思議によく効く薬。霊薬。転じて、非常に有効な解決策。「景気回復の―」

みよかし - がお【見よかし顔】
これを見よと言わんばかりの顔つき。見てほしそうな態度・表情。

み - りょう【未了】
まだ終わらないこと。「審議―となる」

見(み)ると聞くとは大違い
人から聞いて想像するのと、実際に見るのとでは、大変な相違がある。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

見(み)るに忍び◦ない
あまりにも気の毒であったり、ひどい状態であったりして、見ているのが非常につらい。「―◦ない惨状」

見(み)るに堪え◦ない
あまりにみじめで、まともに見られない。見るに忍びない。「―◦ない光景」

見(み)るに見兼・ねる
はたで見ていられない。見ていて安心できない。「―・ねて注意する」

見(み)る間(ま)に
ちょっと見ている間に。見る見る。またたく間。「―走り去る」

見(み)れば目の毒
見れば欲しくなってしまうから見ないほうがよいということ。

未練(みれん)未酌(みしゃく)がな・い
非常に冷淡で、同情心も斟酌(しんしゃく)する心もない。

身(み)を誤・る
間違った生き方をする。人生をふみはずす。「酒で―・る」

身(み)を起こ・す
出世する。「貧困な境遇から―・して財を成す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

身(み)を落と・す
おちぶれる。身を沈める。「失意のうちに―・す」

身(み)を切ら◦れる
つらさや寒さが厳しくて、ひどくこたえる。「―◦れる思いで離別する」

身(み)を切・る
① つらさや寒さが厳しく、からだを切るように感じられる。「―・るような寒さ」「議員自らが―・る姿勢を示す」「―・る改革」
② 自分の金で払う。身銭を切る。

身(み)を砕(くだ)・く
① 大変な苦労・努力をする。身を粉(こ)にする。「―・いて研究にうち込む」
② ひどく悩み苦しむ。

身(み)を焦(こ)が・す
激しく募る恋慕の情に、もだえ苦しむ。「かなわぬ恋に―・す」

身(み)を粉(こ)に◦する
労力を惜しまず一心に仕事をする。「会社再建のため―◦して働く」

身(み)を引き締・める
緊張する。真剣になる。「―・めて難局に当たる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

身(み)を持ち崩(くず)・す
品行が悪く、生活がだらしなくなる。「ばくちで―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.